

心のまなざし 1月号

令和4年12月30日発行 認定こども園様似町立幼児センター

12月に入り、冬鳥たちの飛来数が一気に増えた様似川周辺は、オオハクチョウやカモたちが鳴きかわす声でにぎやかになり、青空のもと見事に隊列を組んで飛翔する姿を間近に観察することができました。当センター自然体験プログラム「ジオ学習」においても、フィールドスコープを使った本格的な野鳥観察を楽しむことができました。日々何気なく見ている身近な環境も、視点を変えると驚きと不思議に満ちた世界が広がることを体感することができたように思います。「ジオ学習」の目的は、様似の身近な自然環境について四季折々の魅力に触れながら、子どもたちが五感をフル活用して楽しむことです。豊かな感性と着眼点をもつ幼児期だからこそ、自然の中で過ごす体験を大切にしていきたいものです。

年内の保育を12月29日に無事に終了することができました。保護者の皆様、ありがとうございました。年が明けると、令和4年度の総仕上げとなる3学期を残すのみとなります。引き続き、当センターの教育保育へのご理解ご協力を、よろしく願いたします。



スコープを覗くと、こんな具合にオジロワシが見えました！



☆ジオ学習《冬》～野鳥観察～☆

12月中旬、3～5歳児クラスを対象に、冬の様似川周辺で見られる野鳥を観察しました。当日はうらかわ探鳥クラブの武内氏、水永学芸員の協力の下、冬の野鳥の特徴や魅力、観察の際の留意点を教えていただき、じっくり観察することができました。子どもたちは注意深くフィールドスコープを覗き、普段とは違う野鳥の見え方に驚き、喜んでいました。観察を終えて保育室へ戻った3歳児が、マグネットパターンプロックでジオ学習で見た風景を表現していました。子どもたちの心に残る楽しい活動だったようです。冬の様似川周辺には、図鑑に載っている野鳥がたくさん飛来します。ぜひ親子で散策しながら身近な自然に触れて楽しんでほしいです。



☆サッカーW杯に触発されて、
PK大会を楽しむ4歳児☆

サッカーワールドカップでの日本チームの活躍、大会の盛り上がりは子どもたちにも大きな関心事だったようで、運動遊びの中で、盛んにPKごっこを楽しむ様子がありました。この日は、担任がPK大会を企画し、4チーム総当たり戦が繰り広げられました。日ごろの練習の成果を発揮し、優勝目指して頑張る子どもたちは、とても生き生きとしていました！

☆みらい塾（5歳児）☆

生涯学習課体育係との連携事業「みらい塾」では、4、5歳児を対象とした運動遊びのプログラムを計画し、年間をとおして活動展開しています。この日は5歳児が平均台を使った体幹運動を楽しみました。子どもたちは腕とお腹でしっかりと自分の体を支え、バランスをとりながら移動していました。



☆クリスマス会☆

22日、各学年でクリスマス会を楽しみました。0～2歳児の未満児クラスでは、CIR(国際交流員)のサンタさんが保育室へ登場すると驚いて泣いてしまう子もいましたが、プレゼントをもらい喜んでいました。3～5歳児の学年ごとの会では、父母協力会サンタさんが登場！この日までに考えたサンタさんへの質問に答えていただき、1人ひとりにプレゼントが手渡されると、子どもたちは英語でお礼を伝え喜んでいました。

